Be a Great Small.
中小機構

中小機構の支援策

・ＩＴプラットホーム
・生産工程スマート化診断
・ハンズオン支援
・事業再構築ハンズオン支援

令和５年２月
独立行政法人中小企業基盤整備機構　東北本部

Be a Great Small.
中小機構

ＩＴプラットホーム

ITプラットフォーム

- 中小機構が提供するIT化支援ツールの総合発信サイト
- IT導入の各段階で活用できるツールやお役立ち情報を発信中

■ITプラットフォーム
URL：https://dx-ouen.smrj.go.jp/

IT戦略ナビ

- 自社の課題を見える化し、有効なITソリューションが確認できる自己診断ツール
- Web上で短時間（５分）で「IT戦略マップ」が作成できる
- 手軽に何度でも無料で利用可能。自己診断を通じた課題整理がメイン

■IT戦略ナビ
URL：https://it-map.smrj.go.jp/

POINT 01

課題の見える化
経営課題から業務課題、これらの解決策まで、マップで「見える化」されます。

POINT 02

IT導入の意思統一ツールになる
課題解決に必要なITソリューションとスケジュールが示され、導入に向けた社内の意思統一が図られます。

POINT 03

社員のモチベーションアップツールとして使える
導入や運用に向け、社員がITの活用目的を意識し、モチベーションアップにつながります。

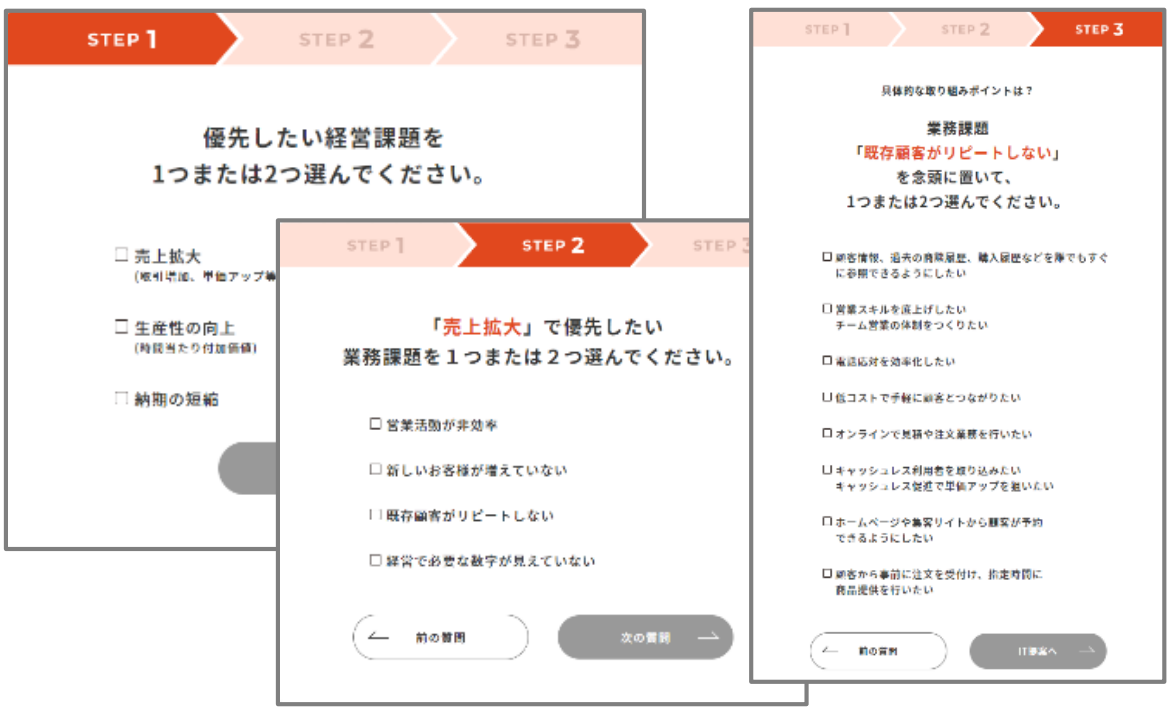
IT戦略ナビ

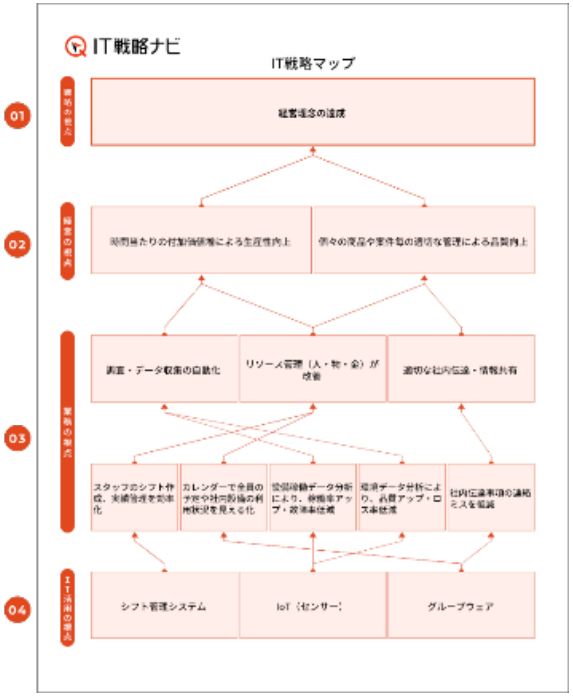
- **IT戦略マップって何？**
- **どのようにITを活用すれば良いか１枚の絵で社内共有も可能**

・IT戦略マップは、どのようにITを活用したら、ビジネスが成功するか？というストーリーを1枚の絵（マップ）にまとめたもの

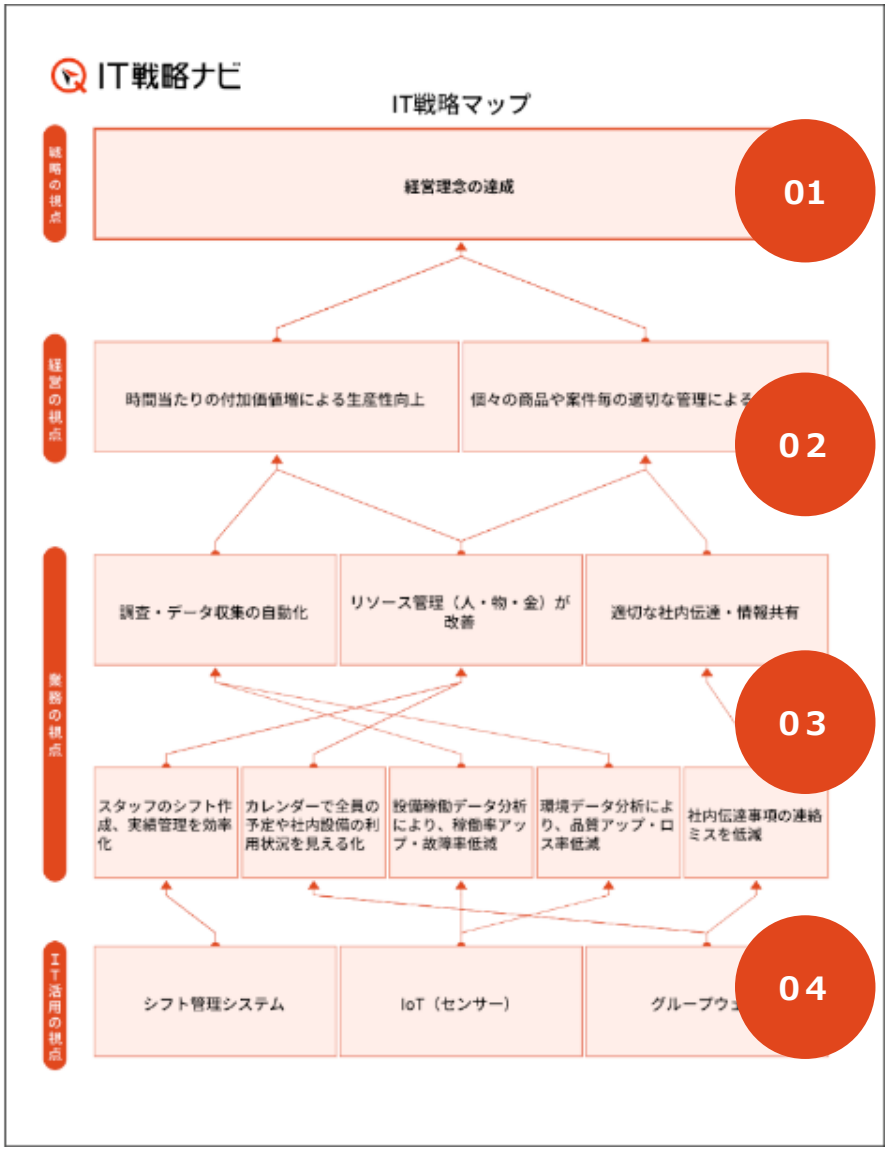
・質問項目にチェックを付けていくだけで、マップが自動的に作成されるため、自己診断から、手軽に課題整理が行えます！

＜マップ作成の流れ＞





IT戦略ナビ



目標設定（戦略の視点）
貴社のスローガンやビジョンが示されます。

経営課題（経営の視点）
経営課題が解決した状態が示されます。

業務上の問題点（業務の視点）
業務上の問題点が解決した状態が示されます。

対応策（IT活用の視点）
課題解決を実現するITソリューションが示されます。

ここからアプリ

- 業務分野や用途に応じたビジネス用アプリを検索できるサイト
- アプリ導入事例をインタビュー記事や動画で多数紹介

■ここからアプリ
URL：
https://ittools.smrj.go.jp/

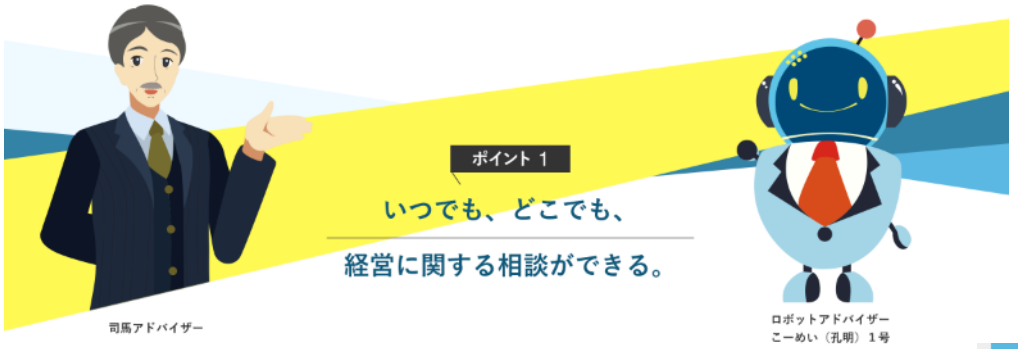
ebiz

- EC活用支援のためのポータルサイト
- EC活用について、専門家から実践的なアドバイス
- EC関連の学習動画や活用事例、サービス・ツール等のコンテンツを提供

■ebiz
URL：
https://ec.smrj.go.jp/

E-SODAN

中小企業の皆様はもちろん、支援機関の皆様にもご活用いただける便利なコンテンツです。場所を選ばず、予約も不要、費用も無料ですので、是非ご活用ください！。



■E-SODAN
URL：
https://bizsapo.smrj.go.jp/

E-SODANは、中小機構が運営する“経営相談チャットサービス”で、
以下の2つで構成しています。

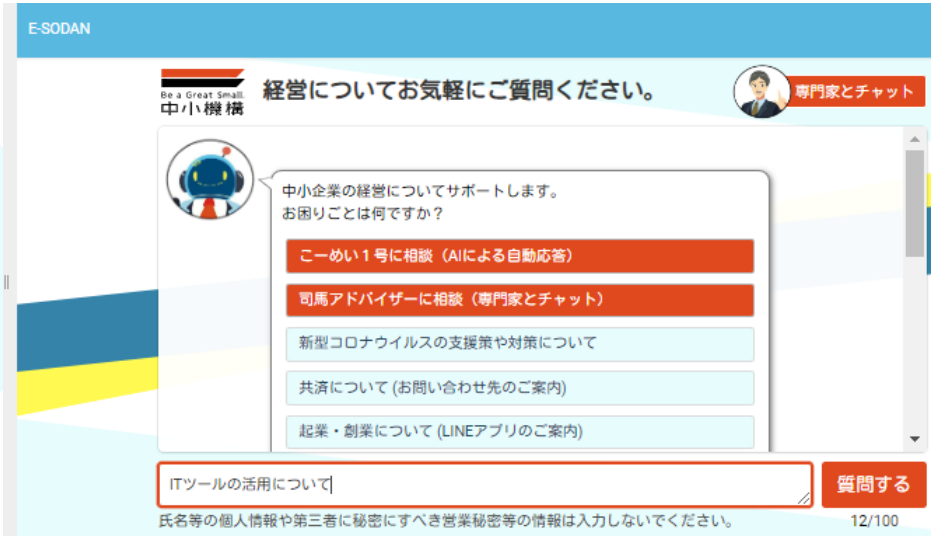
AIチャットボット

経営に関する様々なお悩みに対し、豊富な相談対応実績のある専門家が監修する回答集のなかから、AIが最適と判断する回答や関連する情報等を提示します。

専門家とチャット

（利用時間：平日9～17時）

豊富な相談対応実績のある専門家と、直接チャットで経営に関する相談ができます。



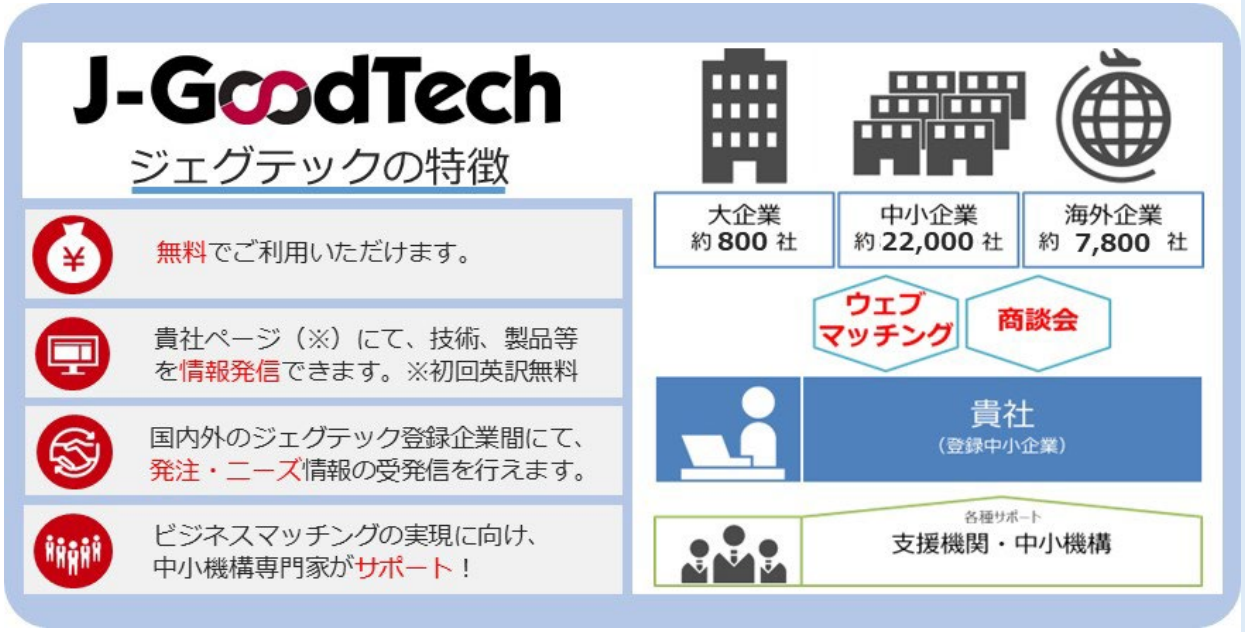
J-GoodTech(ジェグテック)

-販路開拓に意欲がある中小企業向けBtoBマッチングサイト-

●優れた技術・製品・サービスを持つ中小企業と、国内の大手パートナー企業や中小企業、海外企業とをつなぐビジネス・マッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」。
製品開発や事業提携、海外展開のビジネスパートナーを探し、新規取引に向けた情報交換をサイト上で効率よく行うことができます。

●製造業、サービス業など幅広い業種の国内の中小企業 約22,000社が登録。

●国内の大手パートナー企業 約800社、海外の支援機関が推薦する海外企業約7,800社が登録。



中小企業がジェグテックを活用するメリット

①技術・サービス情報の発信
（＊貴社ページの登録、情報交換が可能）

登録中小企業は、製品・技術・サービスなどを国内外の企業にアピールすることができ、興味をもった日本をはじめとする世界中の企業からコンタクトを得ることができます。

②企業間での自由なコミュニケーション
（＊ニーズの発信、提案が可能）

ジェグテック登録企業同士で新規取引・提携などに関する情報交換が可能。WEBを通じて、事業拡大、課題解決に向けた新たなビジネスパートナーづくりを行うことができます。

③ビジネスパートナーの情報検索
（＊国内外の登録企業の検索が可能）

特徴的な日本の中小企業・海外企業が多く登録されているので、製品・技術・サービス等の情報を検索し、最適なビジネスパートナーと出会うことができます。

Be a Great Small.
中小機構

ロボット、IoTを活用した生産性向上への第一歩
生産工程の課題がわかる！対応策がわかる！

生産工程スマート化診断

無料

（要約）
生産工程スマート化診断は、中小機構の専門家チームが貴社を訪問し、生産現場の確認、ヒアリングを通じて、「生産性の拡大」「業務の効率化」「生産工程の見える化」等の具体的な方策を提案します。

【お問い合わせ】
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
東北本部企業支援課 Tel: 022-716-1751
事業紹介ページ： https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/smart/index.html

生産工程スマート化診断とは

中小機構の専門家チームが貴社を訪問し、生産現場の確認、ヒアリングを通じて、「生産性の拡大」「業務の効率化」「生産工程の見える化」等の具体的な方策を提案、今後の取り組みのきっかけ作りにご利用ください。

概要

- **「作業」**と**「情報」**の視点から、専門家が生産工程の**現状分析**を実施します
- その結果から課題の整理・可視化を行い、ロボット、IoT及びデジタル技術の活用可能性に係る情報提供を行います
- 全3回の**無料支援**です

対象

- ロボット・IoTの導入により、生産性を向上させたい事業者
- 生産工程の見える化の仕組みづくりをしたい事業者

成果

- 生産工程や作業について、専門的・客観的視点から現状を分析し、**現状の課題**や**取り組むべき対応策**を提示します。
  （例：業務フロー見直し、見える化、標準化、仕組みづくり等）
- 生産性向上に向けた取り組みとして、ロボット、IoT等の活用可能性、情報提供を行います。

生産工程スマート化診断

- **専門家が生産現場を訪問し、ロボット（自動化）・IoT・デジタルの活用可能性を提案**
- **全３回の診断を通して、生産工程の課題を整理し解決策を提案**

事前相談申込

【職員が対応】

- オンラインにて事業説明&ヒアリング。
- 生産工程の課題に応じた専門家選定

面談①

【現地調査】

- 専門家が訪問し経営者へ生産工程の課題をヒアリング
- 作業内容や工程を確認分析

面談②

【関係者打合】

- 現地調査をもとに課題整理
- ロボット・IoT・デジタル技術の導入による解決策検討

面談③

【診断報告会】

- 生産工程について、ロボット（自動化）・IoT・デジタル技術導入による解決策を提案

■生産工程スマート化診断
URL：https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/smart/index.html

支援全体の流れ

支援申込書のご提出

※申込書のご提出と事前打合せ【Web】は前後する場合もございます。

事前打合せ【Web】

・本事業のご説明と、支援の進め方の相談
・生産工程の課題、取り組み状況等の共有
・自動化（ロボット、IoT等）の検討状況、導入状況の確認

第１回支援（経営者ヒアリング、現場調査）

・業務内容、フロー、生産工程の課題等についてヒアリング
・工場等の現場調査

第２回支援（ディスカッション）

・第１回目の内容を踏まえ、課題の深堀のための追加ヒアリング
・今回の提案の方向性確認
・課題解決に向けた方法を検討、ディスカッション

第３回支援（診断内容の報告）

・第１回、第２回の内容を元に作成した提案書の説明
・課題解決に向けた今後の取り組みについてご提案

診断の内容：業務体系図

例

受注・設計・生産計画

- 受注情報にもとづき、在庫を引き当て、出荷している。
- その上で、在庫補充分を「生産計画」として現場に指示書で提示している。
- 日程計画は工程の負荷を勘案して立案。
- 現状自動車部品の製造リードタイムはほぼ２０日固定（１日１工程　計20工程）
- 製造ロットごとに作業指示書が発行され、初工程から最終工程まで現品とともに回送される。
- 自動車部品について納期上の問題は発生していないが、それ以外のスポット受注品で納期問題が発生することがある。その要因は、「製造歩留まりが悪く、期間内に所定の納品数量を確保できなかった」というものである。

伝達方法

・指示書（紙）を送付

原料調達・在庫管理

- 自動車部品は欠品が許されないため、一定の製品在庫、部品在庫を持って運営している。
- 受注にもとづく材料調達ではなく、在庫補充計画にもとづく材料調達としている。
- 現状、仕掛品約１ヶ月、製品在庫約１ヶ月分を保有。
- 調達リードタイムが２０日と長いため、工程内　および工程間の仕掛品が多い。

受注情報の把握

【紙】
受注情報

【データ】
受注に基づく在庫引当状況

【リアルタイム】

仕入・在庫の把握

【紙】
原材料発注情報
原材料入荷状況

【データ】
製品在庫数

【リアルタイム】
原材料在庫数

出荷情報

【紙】

【データ】

【リアルタイム】

検査・検品の把握

【紙】
実績収集は各工程毎、指示書に担当者印を押印することで確認している

【データ】

【リアルタイム】

加工・組立の把握

【紙】
実績収集は各工程毎、指示書に担当者印を押印することで確認している

【データ】
加工・組立の標準時間、リードタイム、マニュアルデータ
（分析作業はこれからの課題）

【リアルタイム】

伝達方法

・指示書（紙）を送付

物の流れ

・必要な数量を台車にて供給

検査・検品

- 外観検査は現状Ｍａｘ１９名の担当者（パート社員）がシフト制で対応
- 外観検査工程までの不良率約0.05%程度
- 検査内容は、汚れチェック⇒Dカット部に打痕がないことを確認⇒板厚、寸法検査⇒端面にキズおよび打痕がないことを確認
- この検査の負担（労務費ならびに眼精疲労等）が大きいため、１人の作業者＋４台ロボットでの対応を検討している。
- 外観検査は全数検査

伝達方法

・指示書（紙）を送付

物の流れ

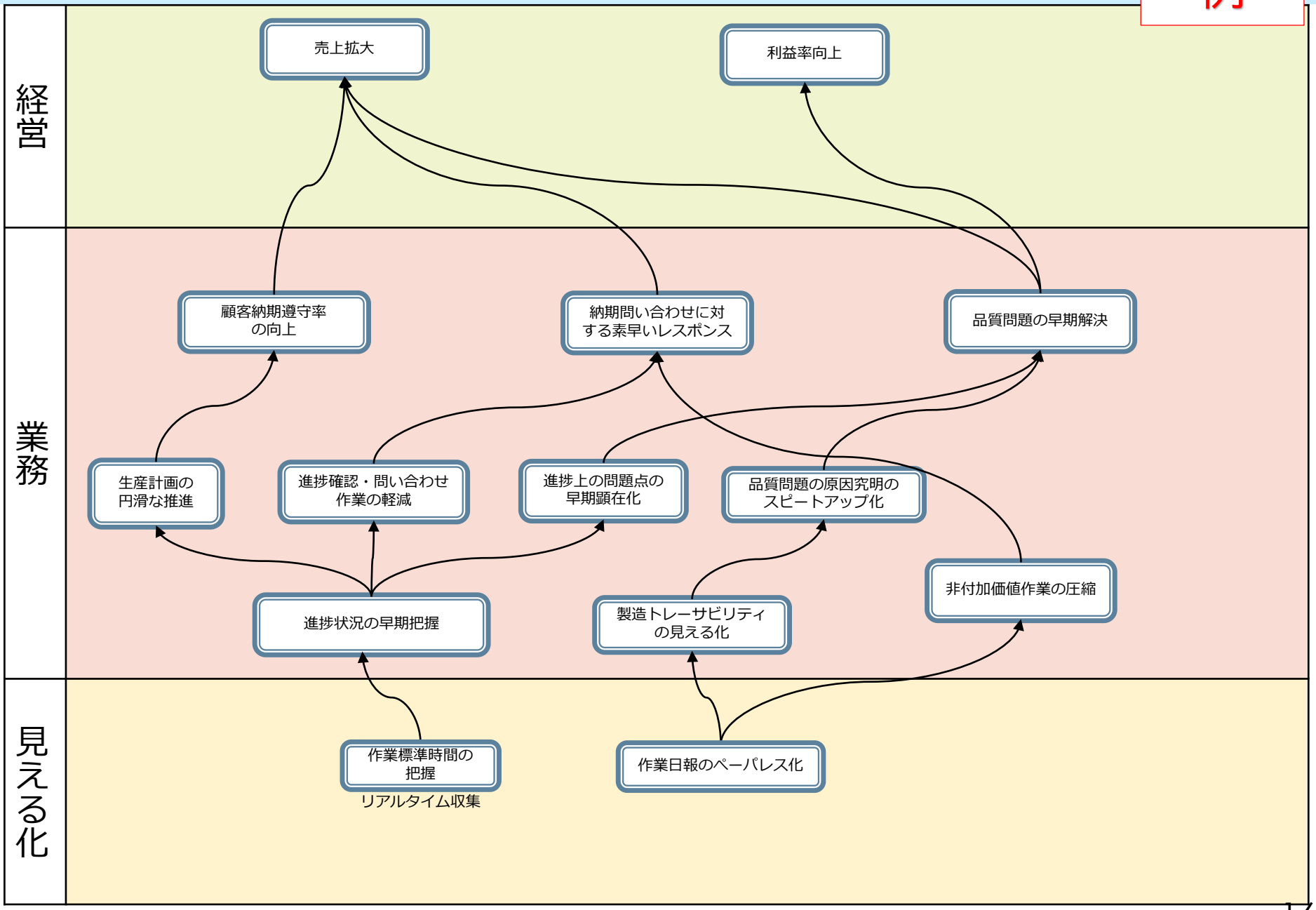
完成品をフォークリフトで検品作業場まで運搬

加工・組立

- 完成までの加工工程は20ポイントあり、進捗の把握は現場で確認する必要がある。
- 設備のうち半数は専用機であり、生産管理システムとの連携は困難。
- 専用機は自社で開発するケースもある。
- バッチ生産／連続生産、能力、品質等を勘案し、今までさまざまな取り組みを行ってきた結果、現状の生産方式がBetterとの結論に至っており、見直す考えは今のところない。

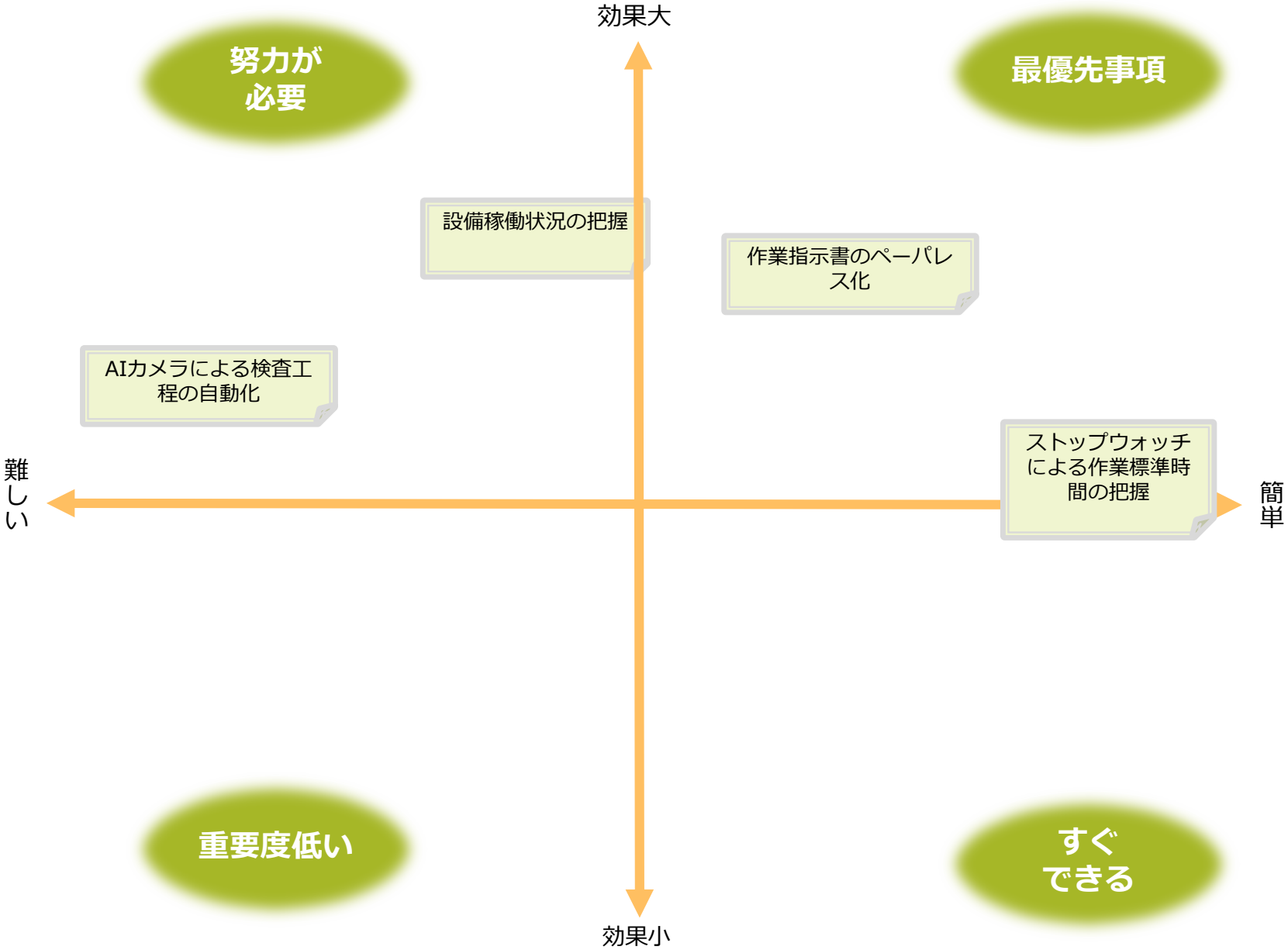
診断の内容：戦略マップ

例



診断の内容：行動リスト

例



Be a Great Small.
中小機構

中小機構の経営支援事業

～ハンズオン支援事業について～

Be a Great Small.
中小機構

**企業の社内チームと機構チームが一体となって取組むことで、
継続的に発展・成長できる「自立化の仕組み」づくりを目指します！**

ハンズオン支援事業

有料

（要約）
経営・技術・財務等の専門家を総合的な課題解決のために長期間継続して派遣します。企業の発展段階に応じてタイムリーで適切なアドバイスを行い、その成長・発展をサポートします。

【お問い合わせ】
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
東北本部企業支援課 Tel: 022-716-1751
事業紹介ページ https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/hands-on/index.html

ハンズオン支援事業とは

経営課題の解決に取り組む中小企業に対して、**豊富な経験と実績を持つ専門家を長期継続的に派遣し、企業の成長・発展のために経営者・社員の皆様と一緒に取組むというメニューです。**

◆概要：経営・技術・財務等の専門家を総合的な課題解決のために長期間継続して派遣します。企業の発展段階に応じてタイムリーで適切なアドバイスを行い、その成長・発展をサポートします。

◆対象者：今後の成長・発展を見据え、課題解決に積極的に取り組む中小企業

◆支援期間　：3ヶ月～10ヶ月以内（2回/月程度）　※ 支援制度による。

◆支援体制　：案件毎に専門家と職員で企業と一緒に取組むチームを編成

◆支援方法　：支援計画を策定し、**企業の社内チームと機構チームが一体となって取組むことで、派遣終了後も自ら継続的に発展・成長できる「自立化の仕組み」づくりを目指します。**

ハンズオン支援事業の支援テーマ（例）

《支援テーマ例》

【経営課題全般の解決】

◆専門家継続派遣事業
（総合課題への長期継続的取り組み）

派遣期間：6ヶ月～10ヶ月　派遣頻度：20回程度
料金：17,500円／人・日（税込）

- ・経営戦略策定
- ・中期事業計画策定
- ・管理会計導入
- ・経営管理の仕組み化
- ・生産管理体制構築　等

【特定課題の解決】

◆経営実務支援事業
（単一課題への短期集中的取り組み）

派遣期間：5ヶ月以内　派遣回数：10回程度
料金：8,400円／人・日（税込）

- ・現場改善（5S）
- ・営業力強化
- ・人事制度構築　等

◆戦略的CIO育成支援事業
（IT化による生産性向上・売上げ向上）

派遣期間：6ヶ月～10ヶ月　派遣頻度：20回程度
料金：17,500円／人・日（税込）

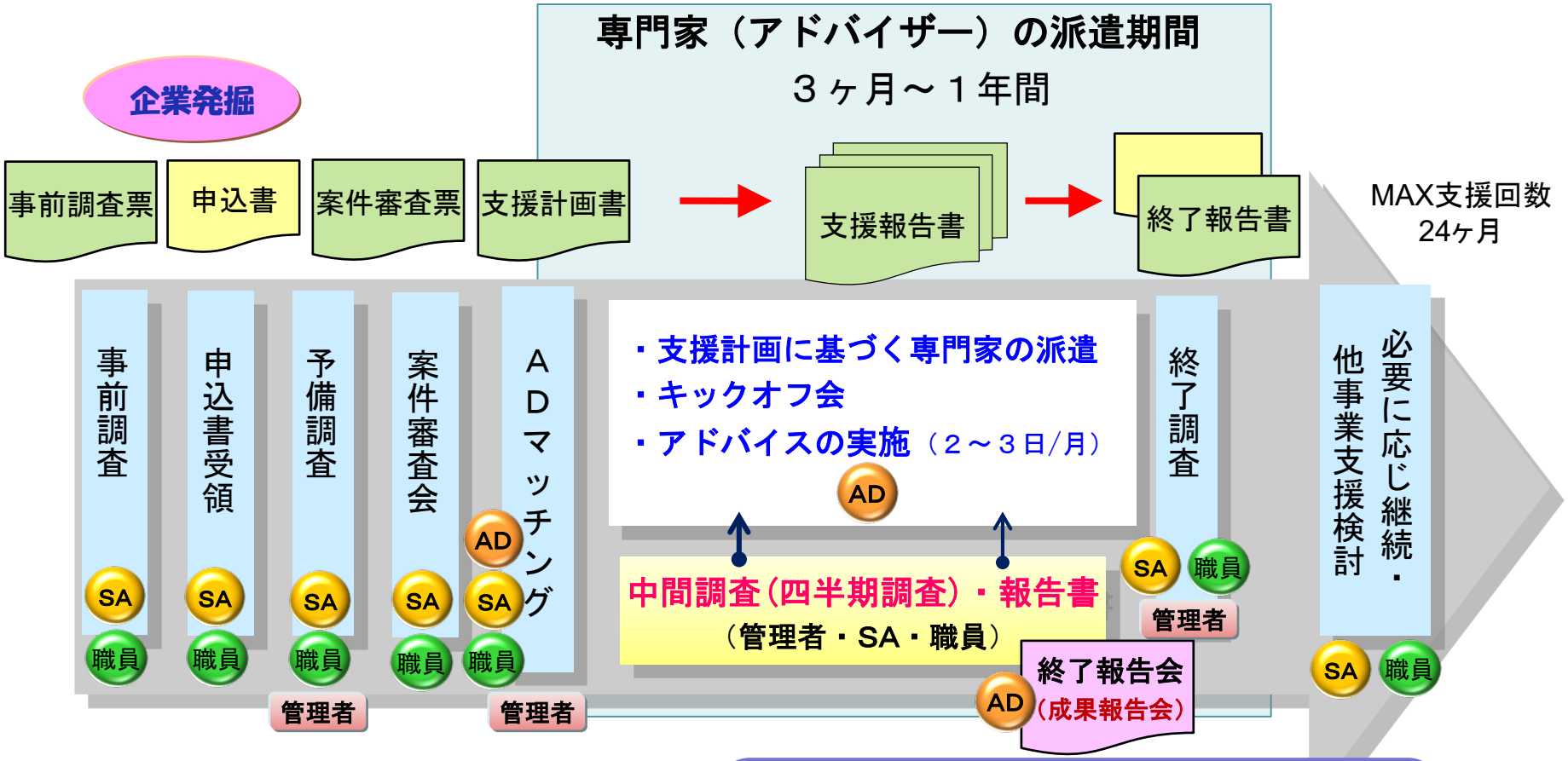
- ・IT化計画策定
- ・IT企画・導入
- ・企業内IT人材育成

◆販路開拓コーディネート事業
（新市場進出・売上げ向上）

ブラッシュアップ　：派遣期間 4ヶ月 8回以内　料金：8,400円／人・日（税込）
テストマーケティング：派遣期間 5ヶ月 15回以内　料金：4,200円／人・日（税込）
フォローアップ　：派遣期間 5ヶ月 10回以内　料金：8,400円／人・日（税込）

- ・マーケティング企画策定
- ・テストマーケティング実施
- ・商品企画ブラッシュアップ　等

専門家派遣支援のプロセス



〔支援先企業〕
・受入体制（窓口責任者決定）
・プロジェクト編成

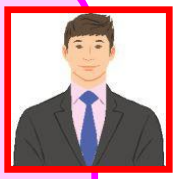
〔中小機構 運営マネジメント〕
・支援チーム編成（専門家・管理者・SA・職員）
・企業支援部進捗確認 ⇒月次でPDCA回転
【支援マニュアルの整備】
・ガイドブック、支援マニュアル化

ハンズオン支援体制

中小機構の本部と全国９地域本部にそれぞれ配置

シニア中小企業アドバイザー
ＳＡ

中小企業アドバイザー
ＡＤ

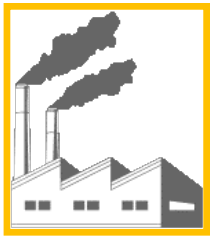


機構
職員

管理者

チーム支援

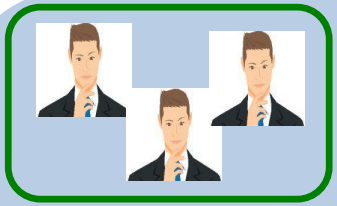
派遣専門家



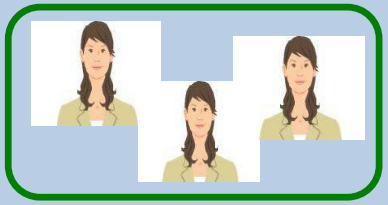
支　援　先　中　小　企　業

アドバイザー　ＡＤ

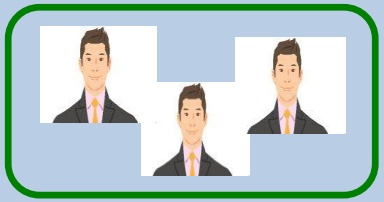
多様な分野の多彩な専門家群



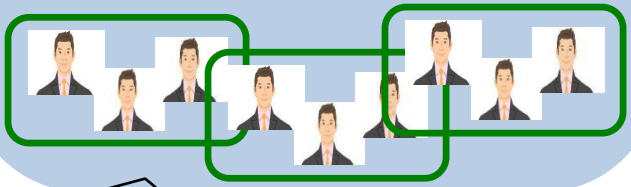
生産・技術分野



財務・
会計分野



営業・マーケ
ティング分野



公認会計士や中小企業診断士等の士業に属する者に限らず、大企業等で経営幹部や工場長、海外責任者、企画開発責任者等として実務を深く経験した専門家

戦略的CIO育成支援事業

- 経営戦略に基づくIT化戦略の立案、ITを活用した課題解決、IT導入の検討・導入・運用について、IT分野の専門家を長期・継続的に派遣し具体的にアドバイス
- 支援を通じて企業内のCIO（Chief Information Officer）候補者の育成も支援

<支援期間（標準）>

A型（企画・導入）・・10ヶ月程度
B型（構想立案）・・3ヶ月程度

＜費用＞

専門家1人・1日あたり17，500円

募集・相談 → 課題の掘り下げ（※審査あり） → 支援計画の策定・提示 → 社内プロジェクトチーム・機構支援チームの編成 → 最適な専門家の選定 → 企業が主体となったプロジェクトの実施 → 成果確認・フォローアップ

＜支援テーマ例＞

【企画・計画フェーズ】

経営戦略や方針の確認・立案、経営課題の整理、業務改善課題の抽出、情報化の方針・計画立案、システム化の構想

【設計・開発フェーズ】

投資予算の検討、ベンダー・パッケージ選定、システム化の設計・開発業務の仕組みの確立

【運用・保守フェーズ】

システム移行・移動のフォローアップ、活用定着フォロー、導入効果の検証、改善項目の抽出

■戦略的CIO育成支援事業
URL：https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/hands-on/01.html

Be a Great Small.
中小機構

事業再構築ハンズオン支援事業

成長・発展を目指す中小企業の事業再構築を支援します！

事業再構築支援

無料
事業再構築アドバイス

有料
ハンズオン支援

（要約）
ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するため、思い切った事業再構築（新分野展開、事業転換、業種転換、業態転換、業種再編）に取り組む中小企業を、アドバイス（相談・助言）とハンズオン支援によりサポートします。

【お問い合わせ】
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
東北本部企業支援課 Tel: 022-716-1751
事業紹介ページ https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/jigyo_saikoutiku_hands-on/index.html

事業再構築ハンズオン支援事業は、以下の２つの事業があります。

成長・発展を目指す中小企業の事業再構築を支援

事業再構築に向けた課題に応じて、
「事業再構築アドバイス（相談・助言）」と「事業再構築ハンズオン支援」で支援します。

事業名	目的
事業再構築 ハンズオン支援事業	● 事業再構築に取り組む中小企業等に対して、「① アドバイス」と「② ハンズオン支援」を実施します。 ● 具体的に事業転換、新事業設備投資やグローバル展開などによって事業再構築を図るにあたり必要となる新事業戦略立案、マーケティング戦略策定、業務プロセスの見直し、組織改編などをテーマにした支援を行い、事業再構築の実現を図ります。

区分	対象者	内容	回数・金額
事業再構築 アドバイス （相談・助言）	・事業再構築補助金の採択先事業者 ・採択先以外で事業再構築に取り組む事業者	・事業再構築の計画策定や実行へのアドバイス	・最大3回 ・無料
事業再構築 ハンズオン支援	・事業再構築補助金の採択先事業者 ・採択先以外で事業再構築に取り組む事業者	・事業再構築の実現に向けたハンズオン支援	・有料 ※ 通常のハンズオン支援と同様

© 2022 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN

新規スタート

事業再構築アドバイス（相談・助言）

事業再構築に向けて最大3回の無料アドバイス

成長・発展を目指した事業再構築の計画策定や実行に向けた課題解決について、
専門家からアドバイスを実施します。

1. **新分野展開**
   新製品開発や新市場開拓の取り組み
2. **事業転換**
   「事業」を変更
3. **業種転換**
   「業種」を変更
4. **業態転換**
   製造方法・提供方法を変更
5. **事業再編**
   組織再編を通して「新分野展開」「事業転換」「業種転換」「業態転換」のいずれかを行う

対象	事業再構築に取り組む中小企業
回数	1～3回
費用	無料
注意事項	・補助金の申請支援は行いません ・機構の支援が補助金の審査結果に影響を及ぼすことはありません ・補助金の制度・手続きについての質問にはお答えできません ・繰り返しのご利用はできません（最大3回を1度限り）

＊「業種」は日本産業分類の大分類を、「事業」は中分類・小分類・細分類を指します。

© 2022 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN

新規スタート

事業再構築ハンズオン支援

事業再構築を“ハンズオン支援”でサポート

成長・発展を目指す中小企業の事業再構築の実現を応援するために、
中小機構の“ハンズオン支援”で経営課題の解決を支援します。

1. **新分野展開**
   新製品開発や新市場開拓の取り組み
2. **事業転換**
   「事業」を変更
3. **業種転換**
   「業種」を変更
4. **業態転換**
   製造方法・提供方法を変更
5. **事業再編**
   組織再編を通して「新分野展開」「事業転換」「業種転換」「業態転換」のいずれかを行う

対象	事業再構築に取り組む中小企業
メニュー	• 専門家継続派遣事業 • 戦略的CIO育成支援事業 • 経営実務支援事業 • 販路開拓コーディネート事業
注意事項	• 補助金の申請支援は行いません • 機構の支援が補助金の審査結果に影響を及ぼすことはありません • 補助金の制度・手続きについての質問にはお答えできません • ハンズオン支援と同様、ご利用には機構による審査・手続きがあります。

＊「業種」は日本産業分類の大分類を、「事業」は中分類・小分類・細分類を指します。

© 2022 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN

［参考］　東北本部　ハンズオン支援事業の特徴「企業体質強化のススメ」

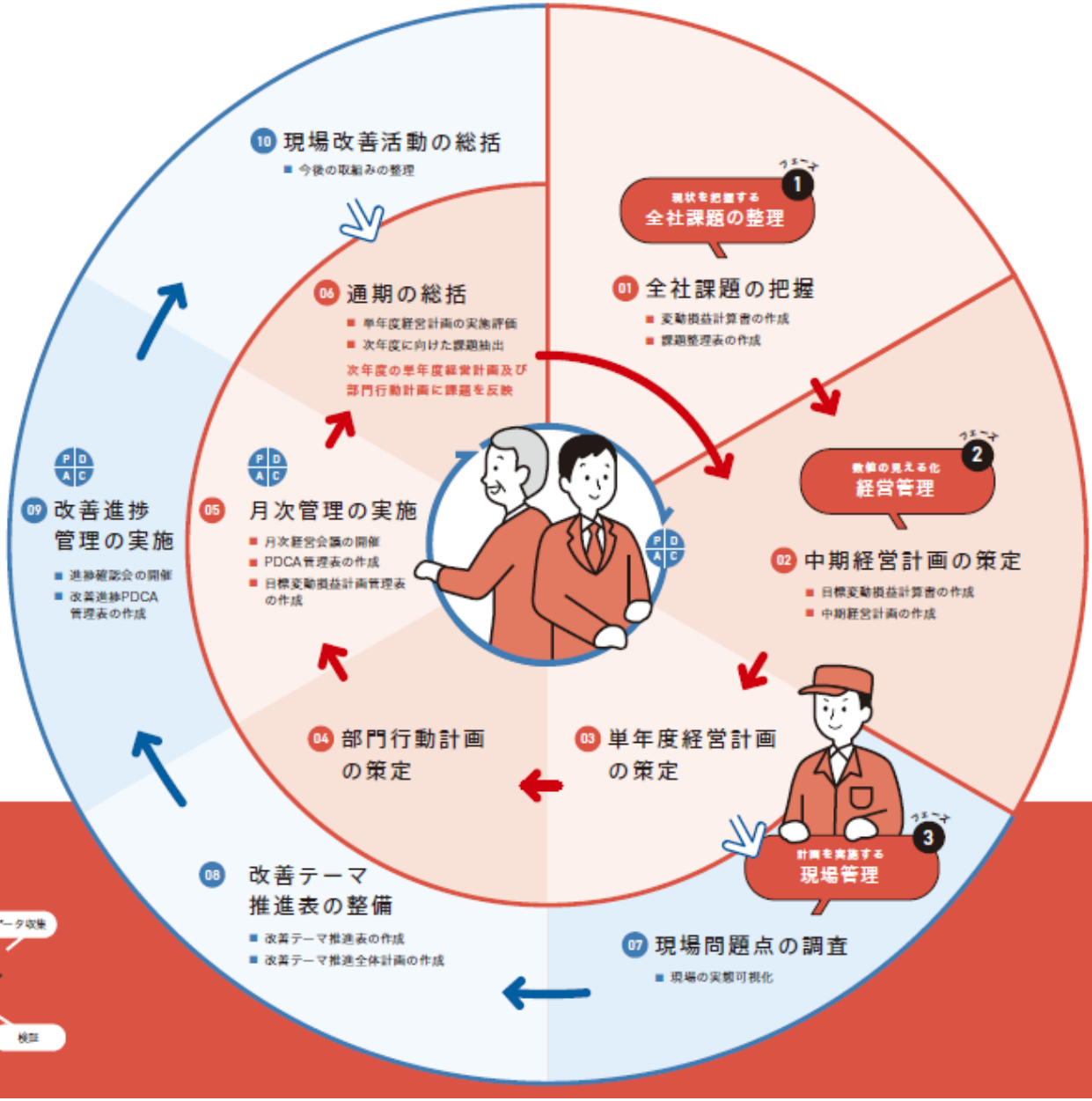
企業体質強化の仕組み

3フェーズ、10ステップをPDCAサイクルで！

企業体質強化の仕組みは3つのフェーズに分かれ、10の実施項目で構成されます。経営管理と現場管理の強化を両輪で推進し、自社の収益改善と生産性向上、人材育成を図ることを目的としています。
次頁からは、モデル事例を基に、中小機構東北本部が企業体質強化の仕組み導入に向けた支援を行う上でのポイントや留意点等を解説していきます。

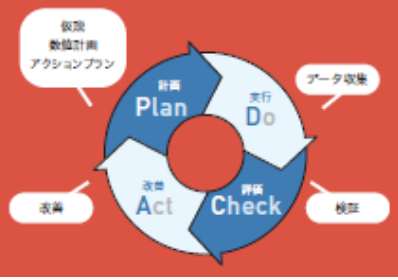
企業体質強化の仕組み導入の主なメリット

- ☑ やるべきことが明確になり、次の目標も立てやすい
- ☑ 実績管理が円滑になり、先を見据えた行動がとれる
- ☑ 充実した内容の会議が定着し、目標実現への行動が着実に推進される
- ☑ 従業員が積極的に意見を出すようになり、職場の活気が高まる
- ☑ ノウハウが蓄積され、後継者・幹部社員の成長へつながる



PDCAサイクル

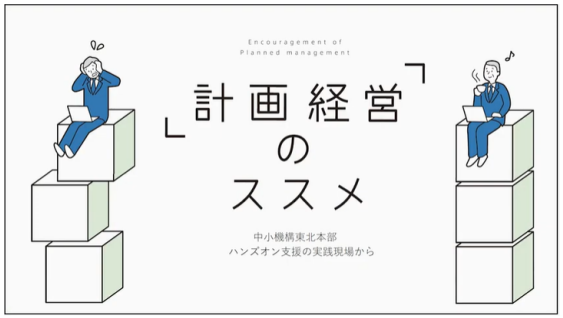
PDCAサイクルとは、(P:計画、D:実行、C:評価、A:改善)を指します。企業体質強化の仕組み導入初年度は、目標や行動の予測に大きなズレを生じることがあります。ズレを修正し結果を出すためには、いかにPDCAサイクルを数多く回すかが鍵となります。



［参考］
東北本部　ハンズオン支援事業の特徴　「計画経営のススメ」

その様な経営者のために、中小機構東北本部は
計画経営（儲かる仕組みづくり）を推進しています。

一言で言えば、「計画を立て進捗管理し成果を出す経営」のことです。「当たり前」と思われるかもしれませんが、実は、計画経営を行うための仕組みが未整備である会社がほとんどです。中小機構東北本部のハンズオン支援※では、「管理会計／事業計画」と「PDCAサイクル」という２つの仕組みを導入し計画経営の実現を支援しています。



計画経営のススメ
（YouTube）

計画経営のススメ URL
（中小機構東北本部）

計画経営のススメ　で検索！パンフレット、動画がご覧いただけます。

- https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/publication/keikakukeiei.html

お問い合わせ

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

独立行政法人中小企業基盤整備機構　東北本部

〒980-0811
仙台市青葉区一番町4丁目6番1号　仙台第一生命タワービル6F

■事業再構築に係るハンズオン支援事業、IT経営簡易診断

企業支援課　Tel：022-716-1751（直通）

■事業再構築に係るアドバイス（相談・助言）、ジェグテック

支援推進課　Tel：022-399-9031（直通）

■IT戦略ナビ、ITプラットホーム（ここからアプリ）

地域・連携支援課　Tel：022-399-9058（直通）